

樹脂材料の引張せん断クリープ特性評価

樹脂材料の引張せん断クリープ特性を広範囲かつ高精度に測定することが可能です。

特徴

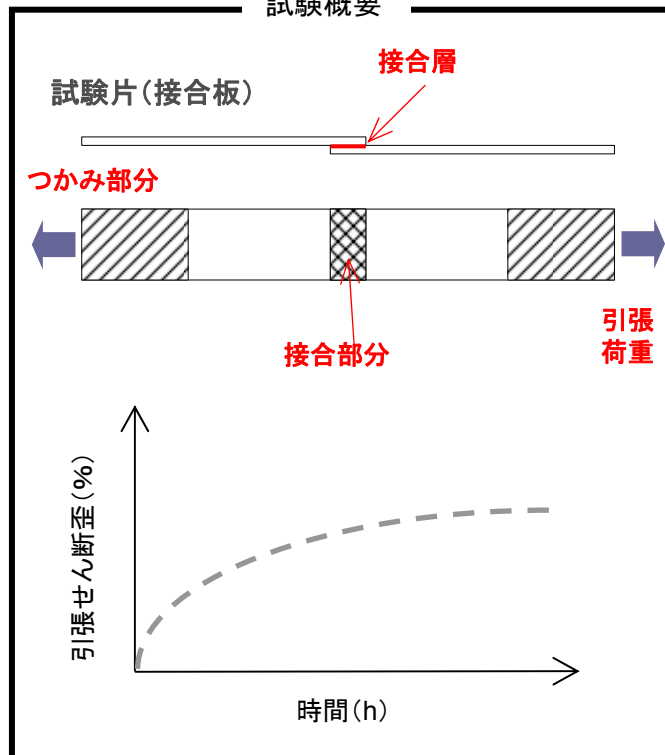
- 【背景】 構造部材として樹脂を使用する場合、接合部の剪断クリープ特性の評価が求められています
- 【対象】 ①ボディ、エンジン・排気系、インテリア周りの構造部材用途（自動車、航空機、など）
②樹脂系接着剤の接合構造用途、など

測定可能範囲

- 供試材料
 - 樹脂 : ゴム、プラスチックから複合樹脂材料まで
- 試料形状
 - 形状 : 板状、フィルム状
 - サイズ : 別途、ご相談下さい
- 試験荷重
 - 数10N～15kN、または20kN
- 試験温度
 - 室温、40℃～400℃
(400℃以上は別途、ご相談下さい。)

引張せん断クリープ変位計測も可能です。
別途ご相談下さい。

試験概要



- 試験方法
 - 試験片の長軸方向に荷重を負荷します。
 - 荷重は、速やか、かつ、衝撃力を極力加えないように負荷します。
- ☆ この他、試験前／後の材質変化などの総合評価にも対応可能です。